

ちょっとひと工夫！ 視覚支援の工夫やポイントを紹介します。

個別の状況に応じた具体的支援（応用編）とあわせて活用してください。



ステンシル（型抜き）～絵を描くことが苦手なこどもが達成感を味わえるためのひと工夫～ ①

描こうとする絵の型を用意し、型の周りを画材（クレパス・筆・タンポ・鉛筆など）でふちどったり、型の中を色づけしたりします。出来上がったら、型はずします。



沈黙の練習 ②

「今から3枚の絵カードを見せますが、何の絵が分かっても言わずに覚えておいてくださいね。」と言ってから、絵カードを見せます。この練習を繰り返すと、外言語を内言語化することや、記憶力（ワーキングメモリ）を養うことにもつながります。



すごろく1回休みカード ③

1回休みの目に入った時に、1回休みカードを取り、次の順番の時に出します。カードを出すことで、順番をとばされるという不安を和らげることができます。



おかわりしっぽり ④

しっぽを取られても、所定の場所からしっぽをもらうことができ、引き続き遊びに参加できるようにします。取られて終わりではなく、また参加できるということで安心できます。

学校すわり

前を向く習慣をつけることによって、話を聞くことに集中しやすくなります。学校の授業を受ける練習につながります。

